

Nº 599 BASTOS, 29 de SETEMBRO de 1961 O PROGRESSISTA Nº 4576 SÃO PAULO A. P.

バストス週報

第五九九号
昭和卅六年
九月廿九日
発行
DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. POSTAL 112
BASTOS
C. P.
ANUAL
CR. \$
250.00

鶏鳴 39

今週のゲスト(第十六回)

小林平志氏

因習派と進歩派

S 色々と面白く話を伺ったが、どうですか？

あなたを訪日印象に残ったのは、どのあたりですか？

小林 まあ、何となく、うて、人の多いところ、行ったところ、よくも、うじやうじやと人間が居るもんじやと思っ、位密集して居るね。

東京大阪神戸これら大都会は、去る迄もないこと、田舎の小駅へ行っても、黒山のよう、な人が、だかりだ。

横濱上陸の時の寒かったこと、ふるえ、上った、しもた、そのため、観光が、一ト月のびた、東海道を下ること、しよ、汽

車、座席がない、じやない、歩くと、こ

何もない、三等だ、たろう、て、冗談

じやない、プリメイロだよ、車掌が、我々

の、ことを見かねて、車掌室へ入れ、た

れた、その、十人ばかり、立ち、坊

や、れ、の、列、車、も、皆、こ、う、い、う、風、だ、と、き、い、て

思、っ、た、ね、と、う、く、名、古、屋、ま、で、立、ち、坊

め、吉田さん、は、米、原、ま、で、立、ち、坊

な、目、に、あ、つ、た、こ、と、が、で、き、た、最、初、か、ら、そ、ん

へ、は、救、回、行、く、こ、と、に、な、り、東、京、へ、二、度、京、都

の、密、集、部、隊、に、は、な、や、才、さ、れ、た、ね、都、度、こ

の、に、は、日、本、密、集、人、口、に、び、つ、く、り、す、る、よ

S 学校、な、の、ぞ、き、ま、し、た、か？

S 小林 福井市、の、は、大、低、参、観、し、ま、し、た

S 小林 何、か、か、わ、つ、た、印、象、は、？

小 林 特、に、感、じ、た、こ、と、は、教、育、の、目、的、が、昔

の、よ、う、に、学、回、教、養、を、身、に、つ、け、る、こ、と、を、

こ、と、で、な、く、就、職、の、た、め、に、教、育、を、受、け

さ、せ、る、と、い、う、方、面、に、な、つ、て、い、る、こ、と、を、

は、こ、り、感、ず、る、ね、中、学、生、な、ら、誰、で、も、う

は、こ、り、感、ず、る、ね、中、学、生、な、ら、誰、で、も、う

ジ、オ、の、組、立、を、う、ら、い、で、さ、る、卒、業、生、は、世

の、中、へ、出、る、と、す、ぐ、就、職、で、さ、役、に、立、つ、よ

う、に、教、育、の、方、針、が、立、て、ら、れ、て、い、る、日

本、全、国、を、う、ら、い、方、針、が、ど、う、か、な、と、違、は

よ、く、知、ら、ぬ、が、工、業、地、帯、の、福、井、市、な、と、違、は

工、業、に、重、点、を、あ、い、て、い、る、所、が、一、里、位、の、私、の

滞、在、し、た、所、は、市、の、中、心、か、ら、一、里、位、の、私、の

Sapataria Bastos



早川靴店

よいくつは人を活動的にします
よいくつをえらびましょう
よいくつを安く
さし上げる店

WAKAMOTO



わかもと製菓株式会社
C.P. 3656

冷蔵庫が又もバストスに
あたりました

わかもと紙画のフタ裏面に名と住所を
かいて送って下さい。×切なし

若い人たちから
したしまれている わかもと

ALFAIATARIA IMPERIAL



丸山洋服店

よいスタイル
仕立て

1961=OUTUBRO=1961
 SENSACIONAIS OFERTAS DURANTE ESTE MÊS NA
 BARATEIRA **CASAS PERNAMBUCANAS**
 Saldos de Balanço A preços bem barato e LENÇOL-
 FRONHAS e TOALHAS com descontos de 10 %
 APROVEITEM !



経済のことに
 ご注意下さい
 ます方は
 反物のお求め
 なら、必ず
カーザス
ペルナンブカーナス
 にいらっしゃいます

そのわけは、年中いつでも、お好みの反物(たんもの)が、最も
 お安いねだんで、自由におえらび下さるようになって
 ているからです。
 労働着、パシア用、ふだん着、のたんものは
カーザス・ペルナンブカーナスの
 ストツキから、おえらび下さい
 特別なお得意様にも正札通りでお願いいたしております
 どうかにも買いよい店と評判をいただいております

カーザス・ペルナンブカーナス・バストス支店

土地のね、田畑を放すと、吾
 土は干ばつになるから、田畑を
 賃金の工場に私を雇うと、
 優先権をくれるなら、売って
 電車の敷設、かまよう土地の買
 と、電車は敷設しようか、と、
 落通すか、と、思えは、あ、い
 ある、通すか、と、思えは、あ、い

は一万三千元の手を打ち、月たため
 うちの坪三千元の値上りだった、農産
 物の収穫は減るが、経済力からい、何
 十倍のふくれ上りだ、鋤の代りにハ
 ンコー持て、同じことさ、技術を身に
 つける教育が自然に重要視されると思
 うのも、こういう所に起因していると思
 うね。

日本公園

波に現る、か、い、か、い、か、い、か、い、
 の話が、近、現、る、か、い、か、い、か、い、
 なたら、良、工、業、都、市、と、して、甲、論、乙、駁、を、
 ら、否、行、都、市、と、して、大、躍、を、と、け、
 と思、ふ、市、の、工、業、と、して、大、躍、を、と、け、
 福井、市、の、工、業、と、して、大、躍、を、と、け、
 一人、の、地、価、の、一、途、を、と、け、
 一万、の、地、価、の、一、途、を、と、け、

小林、し、か、し、限、界、に、つ、い、て、は、？
 す、な、ど、あ、り、得、ない、か、け、れ、ど、一、地、方、一、果
 の、主、要、都、市、に、な、る、と、相、当、の、び、て、い、る、こ
 と、は、日、本、自、体、の、在、り、方、が、昔、の、よ、う、に
 農、業、を、以、て、主、と、な、す、な、ら、ば、近、年、米
 居、り、な、く、な、る、と、な、す、な、ら、ば、近、年、米
 の、主、力、を、自、給、自、足、に、程、度、に、な、す、な、ら、ば、近、年、米
 に、主、力、を、自、給、自、足、に、程、度、に、な、す、な、ら、ば、近、年、米
 観、光、客、誘、致、の、目、的、で、市、街、を、美、化、し、
 所、に、観、光、客、誘、致、の、目、的、で、市、街、を、美、化、し、
 日本、の、特、殊、な、風、光、土、質、が、狭、い、の、で、箱、庭、式
 だ、有、名、な、地、方、が、観、光、客、誘、致、に、相、当、力

4
 を入れるので、日本全体が一つのも遊覧風な
 設備があり、日本全体が一つのも遊覧風な
 あるといつた趣きだ。しかし私は、私利私欲
 の雄大で、しかも明眉な自然の勝景とい
 ったものは、日本には少いと思ふ。アラ
 ジルは、国土が広いから、アラジルの全体を
 観光地的にするには、出来ぬ相談だ。
 が、日本では、それをやりとけて、いる。
 国土がせまいから、せざる人だ。ね。
 アルゼンチン十九の観光で、東京から湘
 南一周箱根をまわった時、他の観光団
 も同じスケジュールだった。為め、当日の総
 遊覧客、五万人と書いて、たまたま、がってし
 まったよ。自動車オニス、が、蛇々長蛇
 の列をつくつて、車と車の間が、せいぜい
 一メートル、その行列に加った車、が、三千何
 百台、というから、大したもん。箱根の
 山は、天下の険、というから、どんな立派
 な道かと思つたら、サントス街道の急坂
 の方が、すつと思つた。だと思つた。
 わしは、日本全国隅々、追まわつたわけ
 ではないが、その一部を旅行した。わけ
 でも、大同小異の印象は、受けて、いる。外
 人客が、ホルミカベルと、日本の風光を、ほ
 め、そやすのは、彼らの目に、映るエキゾチ
 ックな風物に、魂を奪れるから、だろう。ね。

墓地美化施設費として 寄附された方々の芳名

金二百クルゼロス也	岡村林太郎様	中央
金五百クルゼロス也	浮田現爾様	〃
金一千クルゼロス也	梶田サヨキ様	〃
金五百クルゼロス也	山川モキ様	〃
金三百クルゼロス也	伊藤トキ子様	〃
金千五百クルゼロス也	藤本栄治様	ホニン区
金五百クルゼロス也	清水利助様	中央
金二百クルゼロス也	杉本秀一様	サウテ区
金二百クルゼロス也	金子光雄様	〃
金一千クルゼロス也	岡谷金一様	〃
金五百クルゼロス也	荻原幸太郎様	〃
金五百クルゼロス也	虎岩力松様	〃
金五百クルゼロス也	田中三郎様	〃
金一千クルゼロス也	北谷幸雄様	〃
金三百クルゼロス也	海野武雄様	〃
金三百クルゼロス也	戸末金太郎様	〃
金二百クルゼロス也	ルイス様	〃
金二百クルゼロス也	細谷延伊様	バニララテ
金三百クルゼロス也	水馬久様	〃
金五百クルゼロス也	早川里美様	〃
金二百クルゼロス也	中川ルイス様	〃
金五百クルゼロス也	橋本とし子様	〃
金一千クルゼロス也	河西静男様	〃
金五百クルゼロス也	川頭真様	アルト区
金五百クルゼロス也	沖山知巳様	アラガス
金五百クルゼロス也	九林正雄様	カウテ区
金一百クルゼロス也	世話人需出	会計杉山

帰伯御挨拶

皆様には、いつも御愛りも、無之、祝着に存
 上、おます。
 扱、私儀去る一月廿八日、サントス、お帳
 のある、せん、ち、な、丸、にて、か、ね、て、念、頭、の、宗
 祖、親、鸞、聖、人、七、百、回、大、遠、忌、参、詣、の、ため、訪
 日、致、し、以、来、月、日、の、過、ぐる、の、も、忘、れ、て
 長、々、と、滞、在、し、去、る、九、月、九、日、サ、ン、ト、ス、入
 港、の、同、船、ある、せん、ち、な、丸、で、帰、伯、十、三、日
 故、郷、福、井、市、登、り、五、十、三、日、日、で、帰、宅、い
 た、し、ま、し、た。
 留、守、中、は、色、々、と、御、世、話、を、か、け、又、色、々、と
 御、速、意、を、お、か、け、し、た、事、を、御、わ、び、と、共、に
 厚、く、御、礼、申、上、げ、ま、す。
 就、き、ま、し、て、は、向、後、も、一、層、寺、務、に、精、励、す
 る、決、意、を、こ、ご、い、ま、す、故、何、卒、程、々、御、下、命
 御、鞭、鞭、下、さ、い、ま、す、伏、し、て、御、願、申、上、
 一、九、六、一、年、九、月、十、七、日、

バストス南米本願寺内
 小林 平 志

4
 小林 わしは、帰国したら、せい、い、い、目、の、保養
 の、旧、知、に、あ、う、つ、も、り、で、あ、つ、た、が、福、井
 の、親、戚、に、滞、留、中、次、々、と、訪、向、を、受、け、た、り
 招待、さ、れ、た、り、と、う、と、う、百、三、十、三、日、回、つ
 た、が、福、井、滞、在、は、四、十、日、位、だ、つ、た、か、ら、
 これ、は、重、労、働、だ、つ、た、全、旅、行、日、数、二、百
 十、日、と、見、て、百、日、は、往、復、船、旅、東、京、都
 その、他、田、舎、の、方、な、ど、で、七、十、日、近、く、ガ、ス
 として、い、る、わ、し、は、初、対、面、で、も、そ、の、息
 子、で、ご、さ、い、ま、す、と、名、乗、つ、て、く、る、人、も、あ
 り、面、接、も、中、々、忙、し、い、も、ん、じ、や、よ、
 どう、し、て、奥、さん、つ、れ、て、来、な、か、つ、た、と
 方、々、で、き、か、れ、る、ん、だ、が、これ、に、や、参、つ、た、と
 。家、内、は、近、末、と、く、に、弱、く、船、車、の、り、物
 に、は、わ、く、本、人、が、ど、う、し、て、も、道、ま、ん、の、で
 と、苦、しい、弁、解、に、努、め、た、ら、だ、が、二、人、分
 の、帰、朝、費、が、な、い、も、ん、で、す、か、ら、と、も、云、え
 す、あ、ん、た、は、ま、だ、い、い、方、な、す、よ、私、な、ん
 が、一、度、故、郷、へ、錦、を、飾、つ、て、は、ど、う、す
 か、と、い、わ、れ、る、と、近、末、は、ひ、ど、く、健康、を、害
 し、て、こ、の、調、子、で、は、ど、も、長、途、の、旅、行、に
 は、む、か、ん、も、の、で、す、か、ら、な、ど、と、エ、ラ、相、に
 去、ら、ん、だ、が、ま、さ、か、一、人、分、の、帰、朝、費、が
 ない、も、ん、で、す、か、ら、ま、い、つ、て、ま、い、相、だ
 二、人、分、が、ほ、ん、と、に、ま、い、つ、て、ま、い、相、だ

Ração base de PROVIMI



完全な

養鶏飼料は

- A 1 動物性蛋白質
- 2 グレイン
- 3 植物性蛋白質
- 4 抗生物質
- B 植物性蛋白質

右表中の一つでも欠乏すれば

産卵低下、体重減少

と思われからぬ結果となります。

を含有しておらねば

なりません

特に飼料の中心をなす

A群のバランスは

飼料の好し悪しを

決定する重大要素

プロヴィミ

は厳選した材料と

高度の技術で均質に配合したものです。

又最も必要とされるヨード源を海藻

あなたに御使用の際適当な量の

御地方出張中 湯原出張員



Provimi do Brasil S.A

RG. São Bento 64 5º and. S/53 e 54

C.P. 2.167 Fone 36-6937 São Paulo

墓地の美化について

霜 出 静

運動が昨年未始めてバスケット墓地の美化
 でありまして皆様の御心遣いに訴えたの
 であつたが、実は市長の頃水道敷設を
 思ひ立ち着手せんとしたのが最初であり
 ました。許可を得て私財が一般から喜捨を仰
 ぐ計画で、市役所が一時停止した事か
 が、暫く待たれて、代は替り三年程経過し
 る間に、市長の代は替り三年程経過し
 まつたので、止むを得ず決意して立ち上
 ることに、なつたのである。水道布設
 の清掃美化を企画した次第です。
 との申すは、文化バスケットの、移
 民の故郷だなど、自らは、立って見た
 と、この故郷だなど、自らは、立って見た
 霊体の休息所たる墓地を、一見しますに、
 草花々として、バスケットの、一見しますに、
 ユウシュウと破れて、馬が、入りこみ、百鬼
 人が先祖を、尊び、墓地を、守る、と、は、
 の、先、言、で、は、あ、れ、放、題、と、い、つ、て、
 も、放、言、で、は、あ、れ、放、題、と、い、つ、て、

ました。元バスケット教会が先頭に立ち
 納骨堂を建て、いま、当時の、市長と
 の、口、約、の、み、で、あ、つ、た、た、め、建、物、は、市、役、所、に
 接収され、粗末にするのを、怖れ、墓地、
 が、あ、つ、て、頂、け、れ、は、所、属、の、如、き、は、二、の、決、き、
 であつて、寧ろ、市役所の、管理、下、で、あ、る、こ、と
 の、方、が、公、平、を、期、す、る、運、営、か、ら、い、ま、し、
 か、も、知、れ、ま、せ、ん、
 内、の、ア、ベ、ニ、タ、の、正、規、で、あ、り、ま、す、
 を、舗、装、し、て、こ、れ、ま、で、の、で、た、り、め、な、理、葬
 の、仕、方、を、改、め、な、け、れ、は、な、ら、ぬ、で、市、役、所、と
 相、談、し、教、回、に、わ、た、つ、て、古、い、墓、を、掘、り、起、し
 て、リ、ン、ニ、ヤ、を、直、線、に、改、め、ま、し、た、
 水道は、バスケット産業組合と、
 系、会、社、が、折、半、で、約、八、十、三、ト、程、か、つ、て、墓、地、
 の、水、道、が、な、い、こ、と、に、は、あ、の、の、事、は、さ
 っ、ぱ、り、手、が、つ、き、ま、せ、ぬ、
 歩道舗装だけでは、すまぬ、点、が、次、々、と、突
 歩、道、舗、装、だ、け、に、絞、つ、て、申、上、け、ま、し、
 が、墓、地、内、に、教、多、の、流、水、に、よ、る、欠、点、を、
 も、な、げ、な、し、な、ら、ぬ、は、な、ら、ぬ、予、算、に、な、り
 さ、が、な、け、な、し、な、ら、ぬ、は、な、ら、ぬ、予、算、に、な、り
 金、を、ガ、ス、タ、シ、な、ら、ぬ、は、な、ら、ぬ、予、算、に、な、り

ました。レンガが歩道にしいてセメントを
 流すだけでよいと考えて居りました所
 杉山技師は左右両側はコンクリートでなけれ
 ば寸く破損すると云うことのでセメントの
 必要量が約三倍となり、おまけに本年初
 頭と七八月頃の間にネダンが五〇%も
 上昇するといふ有様です。
 私は予算に百五十コトと最初記入しま
 したか、まかりまちがって二百コト位
 と仕上るとたかきくくつていたのだと
 人でもない開きを生じて参りました。こ
 の事は私がこつこつ仕事の計算にうとい
 のと資材の値上りによるものであつて
 最初からペテンにかけて皆様をマンチヤク
 したものでありません。

正門前はこれまで十五米としたが内馬
 場金川両氏の御理解により、今では三十
 メートル以上に拡張され面目を一新しまし
 た。正面の扉も旧来のものは朽ちて居る
 ので鉄扉に致したく存じます。となたか
 張り込んで下さる方はありますまいか
 正門を入る所に段をつけますので自動
 車をのり入れることはできません。歩道
 を大坊にするためです。舗装はすく始ま
 り奥行一四の米が三本、幅一五米が二
 本、中央線最奥に納骨堂がまっすぐに見
 え、これまたの墓地とは面目を一新し
 ました。また、墓そのものはよその所に
 は立派なものも多くありまして、うが、差
 地にこれだけ盛情をよせた所は、奥地では
 珍らしい相です。ひとえに御協力下さつ
 た皆様ののおかげであります。

歩道舗装は大体出来ましたが先日申
 上つたように台風が突然基地正面左
 側十メートルを半倒壊とし、北側七十メ
 ートルを倒してしましました。来る盆(十一月
 一日)までにはこれも修理し、良いと思いま
 す。又、シャーカー側の木柵も殆んど朽ちて
 居りますので之には修理ではなくレンガ塀
 新設となり、歩道以外の仕事として
 て更に皆様の喜捨を仰ぎたく申願する次
 第です。但し、これは今までの既に寄附して
 頂いた方ではなく、始めての御方々の御好
 意を得たいと存じます。

金額の多少を申しません。自金も一口
 キフしてあげればよかったです。あとで後悔
 しても遅いっさません。身金に廻る車馬
 賃がありませんので恐縮ながら、御下
 さい。
 すっかり工事が終りましたから、私の
 独断独走その他行きすぎ先行の諸点切腹
 しておわびするつもりであります。
 いろいろ注意をよせて下さった方々の
 御好意を感謝いたします。なほ、ふんとも
 さきをいそがますので、しばらくお見の
 がし下さい。

(できれば実地を一夜こつこつ下さい)

Vende-se Caminhão
 カニニオン
 シボレー四六年度型五トン積
 (二百二十コト)で売ります
 希望の方は
 フニラリア
 清水利助方
 へおいでせねがいます

バストス歌会報

九月十七日夜、宮武勝雨氏居に於て本年度短歌大
 会の代表選二位の渡部千工、総得点一位の末林重
 扶美両女史の祝賀歌会を同僚各自持寄の馳走に
 宿主の非常な接待で歌が唄となり楽しく更ける
 まで飲をつくした。肝心の扶美女史が風邪のため又
 席されたのは残念であった。(二人一首)

- 冷酷に人の不幸に背を向けぬ
吾が満ち足りぬ冷えし心は
勸一
- 亦しても死の友故郷に降る三ノス
核兵器実験のノ連を憎む
美津雄
- 青春の波乱もなく過ぎ行くか
カンナは燃ゆる陽に赤々と
啓二
- 花習ひ歌詠む余祐出来し今
涙旧當時の昔しと 徳ふ
ふじ
- 泣々と菊治歌集を讀み終り
さびしき農に徹せしを想ふ
ちとせ
- 共に住まむ願ひ久しき夫よりの
便り読みあるバラ白ふ草
米子
- 黄あらぬこの祖母の座の安せさよ
すぎし哀歌も 淡淡として
菊子
- マゲイラの枯葉をさそふ風すぎぬ
わが平安の一日の果てに
まりえ
- 蝶こつ飛び交ひゆくを見守りつ
今朝の私は歌思ひ 居る
千代子
- 崩されぬこの節操を守りゆく
混濁のなき白々の管み
忠雄
- 入道を祝ひてくるる君ありて
おもひ新たに歌詠まんとなす
扶美
- 蘭の花咲きしを置けは病床に
妻の表情たまゆら 和む
羊鈴
- 刻惜しみ予定の仕事を追ふ日々を
庭木青みの日 脚伸かゆく
千工
- 末の子は我を迎えに走り来る
バスより降りし夕 映の道
馬南
- 吾子の弾くアコデオンの曲君が代と
なりしたまゆり 耳たててさきく
敏子
- 出迎えの中に子は居す荷物提げ
取に付む 途 方にくれて
富代
- 兄迎きて夏いの中に四月の
月日は早も 春廻り来し
孤舟
- 生花の初伝の免状頂きし
この娘しさを義妹へ知らせ
弥生

死亡通知並に会葬御礼

母ヒサ儀(六十五歳)予ねて病氣療養中の処、薬石効なく去る
 九月十七日午前八時三十分、永眠致しました。依って翌十七日
 午前八時ツツパン本願寺に於て告別式を行い、バストス墓地に
 埋葬いたしました。茲に生前御厚誼を賜わりました皆様は謹ん
 で御通知申し上げます。

尚葬儀の際は御多忙中にも拘わらず遠路態々御会葬下され且つ
 又過分なる御香料、花輪等戴きまして御厚情の程誠に有難く厚
 く御礼申し上げます。

実は一々参上の上御挨拶申上げ可き処、不本意乍ら取込み中に
 て其の意を得ませず、略儀乍ら紙上を以て厚く御礼申し上げます。

一九六一年 九月二十日

ツパン市 ルアホロロイス 六〇七番

喪主 佐藤 林 工 門

二男 妻 佐藤 藤 十 子

三男 妻 佐藤 藤 信 子

長女 妻 岩田 春 子

二女 夫 宮村 工 子

三女 夫 森 重 子

四男 夫 佐藤 勝 子

親戚代表 岩田 村 勝 子

友人代表 重松 純 子

各位

友人代表 重松 純 子

親戚代表 岩田 村 勝 子

四男 夫 佐藤 勝 子

三女 夫 森 重 子

二女 夫 宮村 工 子

長女 妻 岩田 春 子

三男 妻 佐藤 藤 信 子

二男 妻 佐藤 藤 十 子

喪主 佐藤 林 工 門

道庵南北縦横談

細江ドリールの話

リオクランドス州のピアモンに出張したときの話。アマゾンから流れこ

バストスにはマレットは魚かた。

今日ではアマゾンで日本人の入植地にはマレットは殆んどなく、これからお話す

肥沃な酸性土壌

アマゾンで米作したというアランが政府から土地を無償譲渡してもらった

第四回 バストス支部対抗

卓球大会

テニスデメーザ 支部対抗卓球大会 せまる

いよいよ、来る十月十五日(日)

と 決定!

本年の優勝チームは、いずこ?

山雨まぜに到らんとして風楼に立つ

場所 バストス産業会館

開始 十月十五日午前六時半

主催

バストス聯合青年団

Tenis de mesa, 15 de Outubro

北側テルトリヨリオブランクに属し、最も肥沃な土地である。この辺を日本人

その点は大出来だったが、彼らが流行性感冒だと思っていた、ハンナ熱病は大部分マレットだった。最初の年はマラリヤにたいぶやられたが、次の年には不思議にマラリヤが無くなくなってしまった。今年細江ドールが同所を廻診みると九十八人調べた中に三人しか居なかつた。もう一層注意すれば皆無という状態となるのである。半歳近く湿地は水田として水につかっ居るのでマラリヤは益々増加するを虞があるのは二年目には力やを吊らなくとも眠られるのはどうしたものであろうか。ママン河辺の大都ベレンは人口六十万も居りその周辺には日本人野菜作りが二百家族も居るが、いすれもよくやまている。ガーマ入植者たちは最初の米作がすむとセツカ期にはキヤベツをそのブレイジヨに作った。今では三アルケル位作っているが初年度の裏作によく出来たのでベレンへ売りに行った。売れることは売れるが町の人はレホリヨを今までよく知らなかつたらしく飾り物にして食おうとせぬ。そこでベレン下層民のニク口に売りに行くようになった。去年はトメヤスに売りに行き、マラニオンのサンルイスに送った。塩をふりかけて船で送った。日数がかかって途中で漬物になってしまったといふ笑話もある程だった。サンルイスにドイツ人が居てこれはドイツ人の好物のついで物だ。日本人はすばらしい技術をもっているといつて、とんでもないほめられ方をしたといふ。

で、この野菜を作るためガーマの日本人たちはBHCとカロD下とかの殺虫剤をおびただしく使用した。そのクスリが地面にも吸収され、次年度は蚊の発生を撲滅してしまつたのであつた。そうとも気がつかず日本農家はエライものだ。ついでとも征服してしまつた。州のお役人はますます酸性土壌の所だつた。米作が出来るとのかというような軽率な言葉は学者でつかしまねはないし、経験のない者がそういふ言は尚更のことだ。ガーマに入植した人達は幸いに農地に徹していたからであらう。けこう不健康地を健康地にかえ酸性土壌から年々願しい収穫を上げていく。

細江先生は二年目にここを訪ね、伊藤さんと知り合つた。伊藤家ではモクを搗いて飲待した。日本からモク米のタネをもちて来て作つたものだった。その時家畜を飼え、乳牛が買えぬ人は山羊を飼え、そしてほんとうの農に徹することをすすめた。本年は診断地が代つて伊藤さんとも来て、是非帰りに立ちよつてくれといふ(未完)

墓地美化資金について

おねがい
週報本号第五頁墓地美化についてを中上小最後の処に、不足額の御協力についておねがいをしておきました。ここに重ねておねがい申上げます。

◎十月中に、せひ全部完成すべく努力して居るので、皆様のところへ募金に廻るヒマがありません。

◎まことに横着なおねがいですか、重道商店、太郎田商店、前山商店、製糸会社事務所、週報社の五ヶ所に

領收証用紙を備えましたから、適宜お立ちよりの上、

◎金額は何程でもけっこうです。御寄附下さい

○九月二十五日現在
寄附金収入
煉瓦現物三万枚

三二〇、二〇一、〇〇
セメント、石灰、ペトロール
その他、詳細後報

差引不足金一九五九、〇〇
完了までに要する予算金

五五、五〇〇、〇〇
レンガ一万八千五百枚

二五、〇〇〇、〇〇
セメント五〇俵代

四〇、〇〇〇、〇〇
石灰五百キロ代

三五、〇〇〇、〇〇
正門扉及ヤチ

二〇、〇〇〇、〇〇
植樹予算額

合計金一三九、五〇〇、〇〇也

今までの既に御寄附下さつた方には申上げにくいので、まだ、ただかぬ方のご懐念をおねがい申上げます。

九月二十五日
世話人霜出、会計杉山

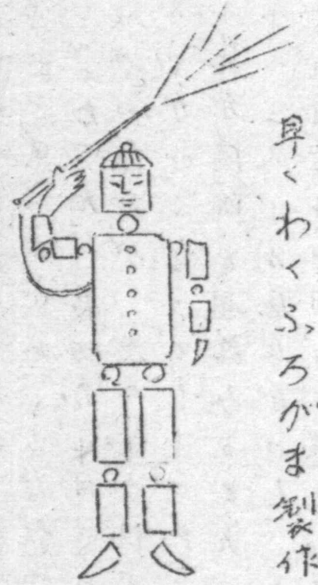
四十歳以上に不健康な人が多い

九月二十四日細江先生の診断を受けた人は四十一人(内子供三人四十才以上の婦人七人)。何れも、こゝか悪い人達だつた。細江先生の発表では

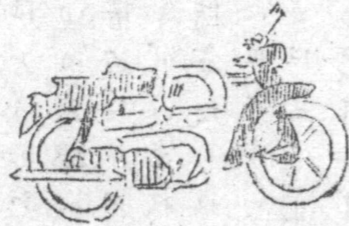
高血圧八人、貧血症十人、胃瘻一人、イロセ二人、更年期障害五人、流産胃四人、心臓五人、排気症三人、肝臓二人、奇形三人、である

一人で二つ以上の病氣をもつていた人もあるわけだ。悪くなつてかゝあわてることなく早期に診てもらふことが必要であることを一般に認識されたいと。

FUNILARIA SHIMIZU



自動車
部分品
フリキ細工
撒粉機
噴霧機



自転車修理

修理一切確實
早くわくふろがま製作

ジャクト式撒粉機
代理店

清水フリンキ店
カペルナンブカーナ 下となり

Aviso de Cine Bastos

九月廿九日(金) 八時
九月三十日(土) 九時半

秘密

東映ニュース第七九号併映

東映スコープ

O S E G R E D O
江原真二郎 佐久間良子
南 宏 山田五十鈴
貪しい青年の一瞬の悪夢！
逃れ得ぬ罪に追われ乍ら...

十月一日(日) 九時半 東映スコープ
十月二日(月) 八時 総天然色
東宝ニュース第七八号併映

親鸞

中村錦之助 丘ことみ
中村賀津雄 吉川博子
木暮実千代 月形龍之介
大河内伝次郎 笠田研二

十月六日(金) 八時 十月七日(土) 九時半
松竹スコープ 高杉浩二 篠村恵子 河根津健吾
總天然色 菊千代 小崎剣太郎

火の壁

岩間監督「こんどは従来のメロドラマとちがって阿蘇が可なり重要なポイントになっている。最後には阿蘇の噴火がある。これを日本映画では初めてのカラーワイドで大がかりの撮影。特殊技術の中で芝居の中にとけこむリアルなものにするため苦心している」

十月十三日(金) 十四日(土) 九時半
東宝スコープ 独立愚連隊

独立愚連隊

A UM PASSO DO INFERNO
佐藤 允 雪村いづみ
上原美佐 夏木陽介
江原達怡 ミツキカーチス
鶴田浩二 三船敏郎

おれたちには明日はねえ！敵中深く突入したアラッレ守備隊が花札片手に不敵な応戦！

ねこやなぎ

フラジルの猫毛とぼしや猫柳 修水
猫柳いよく 涸れんとする流れ 北眠
思ひ出の水郷にありし 猫柳 千工
猫柳 日本のおもてなし 春歩
猫柳 瓢箪池の隠れ 米子
射釣りの音さしのぶ 猫柳 奇峯
金魚けば日本は遠し 猫柳 蜂雀

句会おしらせ

来る十月一日正午より開始
句宿 糸音居
兼題 春愁 蜂 睡蓮 通いご句
例句 外に席題

睡蓮の明暗たつきりのピア、打つ
春愁やうなじ重たき来ね 髪 雪、女
蜂の尻ふわくと針とおさのけり 茅舎
同好の志のおいでを待つ

仙人掌社